

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成25年11月12日

【四半期会計期間】 第69期 第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 ヤマエ久野株式会社

【英訳名】 YAMAE HISANO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田村 哲丸

【本店の所在の場所】 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号

【電話番号】 (092) 474 - 0711 (代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長管理統轄 前田 俊博

【最寄りの連絡場所】 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号

【電話番号】 (092) 474 - 0711 (代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長管理統轄 前田 俊博

【縦覧に供する場所】 ヤマエ久野株式会社 東京支店
(東京都江東区南砂3丁目3番4号)

ヤマエ久野株式会社 宮崎支店
(宮崎県宮崎市江平東町5番地11)

ヤマエ久野株式会社 鹿児島支店
(鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目25番1号)

証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡県福岡市中央区天神2丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第69期 第2四半期 連結累計期間	第68期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	154,281,300	168,604,125	313,576,244
経常利益 (千円)	1,802,397	1,063,424	4,130,340
四半期(当期)純利益 (千円)	810,619	474,649	1,089,213
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	515,074	280,798	1,841,798
純資産額 (千円)	30,597,267	31,996,831	31,922,488
総資産額 (千円)	107,272,764	108,009,279	108,266,491
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	40.16	23.52	53.96
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		-	-
自己資本比率 (%)	27.31	28.38	28.26
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,101,208	1,419,981	2,639,225
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,375,612	1,999,528	4,170,800
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	700,879	1,660,020	283,178
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	13,546,724	10,472,894	9,392,421

回次 会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間	第69期 第2四半期 連結会計期間
	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.26	22.65

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当企業グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策の効果を背景に、一部企業業績や消費動向に回復の兆しが見られたものの、為替や株価の大きな変動や海外では新興国経済の成長鈍化、不安定な中東情勢、欧州経済の停滞などにより、景気回復感は限定的で先行き不透明な状況で推移してまいりました。

一方、当企業グループが主に属する流通業界におきましては、原油高、円安による海外原料・穀物・資材高や雇用・所得環境の大幅な改善が見られない中で、電力料金の上昇・消費税増税など先行きへの不安感から消費者の節約・低価格志向が継続しており、オーバーストアなどに起因する激しい価格競争の中で、生き残りをかけた機能充実とローコスト競争がさらに厳しくなっております。

このような環境の下、当企業グループは、連結子会社17社と持分法適用関連会社1社を含め、物流を伴う現物問屋として、安心安全な商品の安定供給に全力を尽くすとともに、情報・物流・リテールサポート・品揃え・品質管理などの各機能を充実させた提案を行い、関連各部門および各子会社との連携強化による総合力を活かした商流の構築と共同配送事業の拡大に努めてまいりました。

また、新規取引先の獲得や既存取引先でのシェアアップに努力いたしました結果、売上高は1,686億4百万円（前年同四半期比9.3%増）となり、143億23百万円の増収となりました。

一方、利益面におきましては、グループ丸となって、販売益の確保ならびにローコストオペレーションの追求による経費の節減に努力いたしましたが、売上総利益率の低下や物流に係る経費などが増加したことにより、営業利益は8億33百万円（前年同四半期比47.9%減）、経常利益は10億63百万円（前年同四半期比41.0%減）、四半期純利益は4億75百万円（前年同四半期比41.4%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品関連事業)

加工食品関連では、一部食料品価格の値上げにより消費の落ち込みが懸念されましたが、記録的な猛暑により、夏物・飲料関連の需要拡大が予想を上回り売上拡大に寄与しました。そのような中、関東・関西地区においては子会社のマルゼン商事株式会社、カネトミ商事株式会社との連携強化により

営業基盤づくりを推進し、九州地区においては子会社の株式会社サンエー21による展示会実施や加盟店向けの新品開発などを行い、地場小売業様への販売促進支援に力を入れてまいりました。

物流においては、食関連部門（食品・鮮冷・酒類）の商物分離によるローコスト機能拡充を推し進めるとともに、営業部門と物流部門の連携をさらに強固なものにして、お得意先様に役立つ問屋機能の充実に努めてまいりました。

生鮮食品関連では、夏場の高温・干ばつ、その後の長雨・台風などの影響や原料相場の高騰と円安による製品の値上がりで安定供給と市場価格の競争が激化する中、「安心・安全」で付加価値の高い食材提供を行う体制の構築強化に努め、お得意先様の経営課題への対応のため、製造・販売・配送に亘る横断的取り組みを進めてまいりました。

酒類関連では、酒類市場全体の売上減少が続く中、ウイスキー・ハイボール類、チューハイ、梅酒など健康志向の低カロリー商品、低価格ワインが牽引し、ビール風味のノンアルコール商品などの消費が増加しております。清酒市場は地酒を中心に売上に回復の兆しが見え始めましたが、本格焼酎市場は厳しい状況が続いております。そうした環境の下、九州の地場卸の機能を活かして当社の柱として取り組んでおります本格焼酎では、焼酎情報機能としてのホームページ「焼酎紀行」とネット通販「焼酎紀行どっとねっと」を充実させるとともに、東京にて試飲会を開催するなどして「焼酎のヤマエ」として全国的な市場拡大に努め、当社の本格焼酎売上は前年同期比増となりました。さらに、高収益商品として、回復が見られる地方清酒と輸入ワインのチャネル開拓を行い、拡売を図ってまいりました。

この結果、売上高は1,158億47百万円（前年同四半期比9.3%増）となりましたが、競争激化など厳しい事業環境に伴う売上総利益率の低下や物流に係る経費などが増加したことにより、セグメント利益は1億38百万円（前年同四半期比86.4%減）となりました。

（糖粉・飼料畜産関連事業）

糖粉関連では、猛暑による消費低迷や米穀価格下落の中、優良お得意先様への拡販や新規取引先の獲得に力を注ぐとともに、主力商品である小麦粉、砂糖、食油、米穀などの売上拡大に注力いたしました。また、海外穀物相場の弱含み、円安、国内の小麦粉・食油の値上げの中で、価格調整や経費削減に積極的に取り組んで、利益の拡大に努めてまいりました。さらに、各メーカー様、仕入先様と連携して「安心・安全」な商品を適正価格で安定供給することに努力してまいりました。

飼料畜産関連では、主力商品の配合飼料の価格が、主原料のトウモロコシ・大豆粕などの穀物相場高騰の影響で大幅値上げとなりました。畜産物については、肉豚相場が円安による輸入肉の減少の影響で前年から大幅に上昇しました。鶏卵相場は、夏場の猛暑による産卵率の低下の影響で鶏卵不足となり上昇しました。この様な状況の中、お得意先様への技術支援、販売支援などの機能を発揮することで、南九州を中心に配合飼料の既存取引先のシェアアップや新規取引先の獲得が出来ました。また同時に、集荷豚の取り扱いが増加し売上の拡大に貢献しました。

この結果、売上高は345億16百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は5億72百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

(住宅・不動産関連事業)

住宅関連では、住宅ローン金利、住宅価格の先高観や消費税増税前の駆け込み需要もあり、全国新設住宅着工戸数は前年比大幅増となりました。このような環境の下、新規販売先の開拓や大手ハウビルダーとの関係強化とプレカットを中心とした関連商材販売や当社が西日本地区の総代理店として取り組んでおります「通気断熱WB工法」の市場浸透と売上拡大に努めてまいりました。

福岡地区の賃貸事業は、企業の新規進出や増床などの動きが見られ、ビジネス地区でのビル空室率は改善傾向にあります。しかし、立地条件や築年数で競争力の劣る物件では低賃料を余議なくされ、誘致競争は厳しい状況です。このような環境の下、「安全・安心・快適」をさらに充実させ、テナントビルの入居者確保に努めてまいりました。

この結果、売上高は109億57百万円（前年同四半期比20.0%増）、セグメント利益は5億15百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。

(その他)

運送事業では、公共投資拡大、住宅関連企業の好調など一部企業においては活発な動きが見られますが、全体的な景気回復の浸透には至っておりません。燃料価格は高値で推移しており、荷主様からの物流再構築要請や運賃低迷もあり厳しい状況に置かれています。このような環境の下、物流品質の向上、安全管理の徹底、業務の効率化、労働環境の改善に積極的に取り組んでまいりました。

燃料関連事業では、石油製品は原油高、円安などコスト高要因が続き、価格高による買い控えやエコカーの普及が一段と進み、需要の減少が続いております。そうした中、カーケア商品を中心とした燃料油に頼らないSS（サービスステーション）の構築を進めるとともに卸・直売部門では、新規開拓に取り組み販売量の拡大に努めました。

レンタカー事業では、国内の自動車保有台数が減少する中、レンタカーの登録台数・業者数は増加しており、価格競争が激しくなっています。さらに、カーシェア方式のレンタカーも各所のコインパーキングに設置され顧客の分散が始まっています。そうした環境の下、法人と損保チャネルの専任担当を設けたことの効果が出始めシェアの拡大に繋がり、また、個人チャネルはホームページの機能を強化して売上拡大に取り組んでまいりました。

情報処理サービス事業では、卸売業向け物流システム、自社開発の食品メーカー向け生産管理システムおよび流通BMSパッケージソフトの受注活動に努めてまいりました。

この結果、事業収入および売上高は72億84百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益は1億30百万円（前年同四半期比32.3%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて10億80百万円増加し、104億73百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は14億20百万円（前年同四半期比54.2%減）となり、前年同四半期連結累計期間に比べて16億81百万円の収入の減少となりました。

これは主に、「売上債権の減少額」36億68百万円、「税金等調整前四半期純利益」13億18百万円及び「仕入債務の減少額」38億18百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は20億円（前年同四半期比45.4%増）となり、前年同四半期連結累計期間に比べて6億24百万円の支出の増加となりました。

これは主に、「有形固定資産の取得による支出」30億12百万円、「投資有価証券の売却による収入」8億41百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、16億60百万円（前年同四半期比136.8%増）となり、前年同四半期連結累計期間に比べて9億59百万円の収入の増加となりました。

これは主に、「長期借入れによる収入」58億円、「長期借入金の返済による支出」23億17百万円及び「短期借入金の純減少額」13億円によるものであります。

(3) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億57百万円減少し、1,080億9百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の減少額36億63百万円、「建物及び構築物（純額）」の増加額31億62百万円によるものです。負債の部においては前連結会計年度末に比べ3億32百万円減少し、760億12百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少額38億18百万円、「長期借入金」の増加額30億11百万円によるものです。

また、純資産においては前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、319億97百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加額2億73百万円、「その他有価証券評価差額金」の減少額2億16百万円によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,600,000
計	45,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,519,212	同左	福岡証券取引所	単元株式数100株
計	20,519,212	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

当社は新株予約権等を発行していません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		20,519		1,025,961		946,101

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ヤマエ第一食栄会	福岡市東区多の津1丁目14番1号 ヤマエ久野株式会社内	1,322	6.44
ヤマエ久野社員持株会	福岡市博多区博多駅前2丁目13番34号	1,171	5.70
南英福祉会	福岡市博多区博多駅前2丁目13番34号	934	4.55
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13番1号	879	4.28
ヤマエ第二食栄会	福岡市東区箱崎ふ頭6丁目8番54号 ヤマエ久野株式会社内	806	3.93
共栄火災海上保険株式会社	東京都港区新橋1丁目18番6号	718	3.49
ヤマエ第三住栄会	福岡市東区箱崎ふ頭4丁目5番12号 ヤマエ久野株式会社内	678	3.30
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲1丁目2番1号	549	2.67
江夏 喜一郎	宮崎県都城市西町	440	2.14
西日本信用保証株式会社	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号	425	2.07
計		7,925	38.62

(注) 当第2四半期会計期間末現在におけるみずほ信託銀行株式会社の信託業務に係る株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 328,700 (相互保有株式) 普通株式 21,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,154,600	201,546	
単元未満株式	普通株式 14,712		
発行済株式総数	20,519,212		
総株主の議決権		201,546	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式に含まれている自己保有株式及び相互保有株式は次のとおりであります。

自己保有株式 17株
 相互保有株式 株式会社惣和 49株

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ヤマエ久野株式会社	福岡市博多区博多駅東 2丁目13番34号	328,700		328,700	1.6
(相互保有株式) 株式会社惣和	福岡県朝倉市一木 1038番地1		21,200	21,200	0.1
計		328,700	21,200	349,900	1.7

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	ヤマエ第二食栄会	福岡市東区箱崎ふ頭6丁目8番54号 ヤマエ久野株式会社内

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,668,576	10,544,294
受取手形及び売掛金	² 40,487,094	36,824,381
商品及び製品	8,403,158	8,022,803
仕掛品	9,759	12,988
原材料及び貯蔵品	256,486	297,665
その他	6,550,761	6,960,698
貸倒引当金	1,028,021	1,119,413
流動資産合計	64,347,812	61,543,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,092,110	14,253,794
土地	19,243,072	19,362,771
その他(純額)	3,662,447	3,811,249
有形固定資産合計	33,997,628	37,427,814
無形固定資産		
ソフトウェア	601,444	643,728
その他	238,429	213,374
無形固定資産合計	839,873	857,102
投資その他の資産		
投資有価証券	7,184,502	6,308,164
その他	2,639,937	2,615,153
貸倒引当金	743,262	742,371
投資その他の資産合計	9,081,178	8,180,945
固定資産合計	43,918,679	46,465,861
資産合計	108,266,491	108,009,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 42,372,152	38,553,933
短期借入金	10,103,818	9,275,348
未払法人税等	858,248	998,828
賞与引当金	750,701	1,092,041
その他	10,351,845	10,640,243
流動負債合計	64,436,764	60,560,394
固定負債		
長期借入金	5,635,971	8,647,297
退職給付引当金	1,942,653	1,958,780
役員退職慰労引当金	276,090	277,916
その他	4,052,526	4,568,061
固定負債合計	11,907,240	15,452,054
負債合計	76,344,004	76,012,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,025,961	1,025,961
資本剰余金	946,101	946,101
利益剰余金	26,383,860	26,656,604
自己株式	343,533	343,818
株主資本合計	28,012,389	28,284,847
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	2,582,373	2,366,713
その他の包括利益累計額合計	2,582,373	2,366,713
少数株主持分	1,327,726	1,345,271
純資産合計	31,922,488	31,996,831
負債純資産合計	108,266,491	108,009,279

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	154,281,300	168,604,125
売上原価	141,340,507	155,148,411
売上総利益	12,940,793	13,455,714
販売費及び一般管理費	¹ 11,342,236	¹ 12,622,280
営業利益	1,598,557	833,434
営業外収益		
受取利息	6,847	7,017
受取配当金	52,752	60,459
仕入割引	24,563	32,596
持分法による投資利益	11,356	7,413
雑収入	246,631	270,305
営業外収益合計	342,150	377,790
営業外費用		
支払利息	84,131	83,572
売上割引	26,444	32,094
雑損失	27,734	32,134
営業外費用合計	138,309	147,800
経常利益	1,802,397	1,063,424
特別利益		
固定資産売却益	4,721	1,761
投資有価証券売却益	-	307,090
国庫補助金	-	49,350
特別利益合計	4,721	358,201
特別損失		
固定資産除売却損	17,259	21,819
投資有価証券評価損	10,135	22,012
関係会社株式評価損	3,014	10,408
のれん償却額	111,833	-
固定資産圧縮損	-	49,350
特別損失合計	142,241	103,589
税金等調整前四半期純利益	1,664,878	1,318,036
法人税、住民税及び事業税	822,474	1,004,229
法人税等調整額	3,125	182,651
法人税等合計	825,598	821,577
少数株主損益調整前四半期純利益	839,280	496,458
少数株主利益	28,660	21,809
四半期純利益	810,619	474,649

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	839,280	496,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323,825	218,138
持分法適用会社に対する持分相当額	381	2,478
その他の包括利益合計	324,206	215,660
四半期包括利益	515,074	280,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	486,413	258,989
少数株主に係る四半期包括利益	28,660	21,809

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,664,878	1,318,036
減価償却費	763,190	1,059,252
のれん償却額	198,398	19,852
貸倒引当金の増減額(は減少)	81,712	90,501
賞与引当金の増減額(は減少)	303,470	341,340
役員賞与引当金の増減額(は減少)	14,564	17,257
退職給付引当金の増減額(は減少)	132,004	16,127
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	51,670	1,826
受取利息及び受取配当金	59,600	67,476
支払利息	84,131	83,572
固定資産除売却損益(は益)	12,538	20,058
国庫補助金	-	49,350
固定資産圧縮損	-	49,350
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	10,135	285,078
関係会社株式評価損	3,014	10,408
売上債権の増減額(は増加)	1,218,636	3,667,724
たな卸資産の増減額(は増加)	356,122	335,945
仕入債務の増減額(は減少)	2,673,457	3,818,218
その他	44,784	486,973
小計	4,271,118	2,289,640
利息及び配当金の受取額	62,089	67,648
利息の支払額	93,297	96,215
法人税等の還付額	220	23,869
法人税等の支払額	1,138,923	864,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,101,208	1,419,981
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,000	204,755
有形固定資産の取得による支出	1,120,055	3,011,740
有形固定資産の売却による収入	18,349	9,208
無形固定資産の取得による支出	176,134	95,235
国庫補助金による収入	-	49,350
投資有価証券の取得による支出	10,053	11,165
投資有価証券の売却による収入	-	841,075
貸付けによる支出	92,625	-
貸付金の回収による収入	107,236	16,140
営業譲受による支出	40,000	-
子会社株式の取得による支出	60,000	180
その他	3,330	1,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,375,612	1,999,528

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	520,000	1,300,000
長期借入れによる収入	3,700,000	5,800,000
長期借入金の返済による支出	2,058,471	2,317,144
自己株式の取得による支出	46	55
配当金の支払額	201,359	200,774
少数株主への配当金の支払額	4,086	4,086
リース債務の返済による支出	170,563	332,450
その他	44,596	14,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	700,879	1,660,020
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,426,476	1,080,473
現金及び現金同等物の期首残高	11,120,249	9,392,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 13,546,724	¹ 10,472,894

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結子会社を除く会社等の銀行取引等に対して次のとおり保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
(株)スーパー大浦	33,068千円	(株)スーパー大浦	31,253千円
その他4件	54,735 "	その他4件	52,791 "
計	87,803千円	計	84,044千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	173,920千円	
支払手形	61,406 "	

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び賞与	2,224,093千円	従業員給料及び賞与 2,520,606千円
貸倒引当金繰入額	81,712 "	貸倒引当金繰入額 90,501 "
賞与引当金繰入額	772,676 "	賞与引当金繰入額 829,337 "
退職給付費用	309,420 "	退職給付費用 229,006 "
役員退職慰労引当金繰入額	24,433 "	役員退職慰労引当金繰入額 26,019 "
福利厚生費	456,216 "	福利厚生費 500,478 "
荷造運搬費	3,788,461 "	荷造運搬費 4,129,384 "
租税公課	156,486 "	租税公課 186,074 "
減価償却費	287,714 "	減価償却費 316,226 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	13,601,724千円	10,544,294千円
預入期間が3か月を超える定期預金	55,000 "	71,400 "
現金及び現金同等物	13,546,724千円	10,472,894千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	201,906	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	201,906	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食品関連事業	糖粉・飼料畜産 関連事業	住宅・不動産 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	106,009,549	32,054,948	9,127,691	147,192,187	7,089,112	154,281,300	-	154,281,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,974	464,114	137,660	619,747	2,521,317	3,141,064	3,141,064	-
計	106,027,522	32,519,062	9,265,351	147,811,935	9,610,430	157,422,364	3,141,064	154,281,300
セグメント利益	1,016,296	571,720	534,423	2,122,439	98,535	2,220,974	622,418	1,598,557

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、燃料関連事業、レンタカー事業、情報処理サービス事業、保険サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 622,418千円には、セグメント間取引消去41,334千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 663,752千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品関連事業」セグメントにおいて、連結子会社株式を個別財務諸表上で減損処理したことに伴い、会計制度委員会報告第7号「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」第32項の規定に基づき、のれんを償却しております。

なお、当該のれん償却の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては111,833千円であり
 ます。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食品関連事業	糖粉・飼料畜産 関連事業	住宅・不動産 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	115,847,108	34,516,193	10,957,188	161,320,489	7,283,637	168,604,125		168,604,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,910	488,008	155,191	663,109	2,825,255	3,488,364	3,488,364	
計	115,867,018	35,004,201	11,112,379	161,983,598	10,108,892	172,092,490	3,488,364	168,604,125
セグメント利益	137,917	572,286	515,331	1,225,534	130,409	1,355,943	522,508	833,434

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、燃料関連事業、レンタカー事業、情報処理サービス事業、保険サービス事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 522,508千円には、セグメント間取引消去59,423千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 581,932千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	40円16銭	23円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	810,619	474,649
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	810,619	474,649
普通株式の期中平均株式数(株)	20,184,941	20,184,430

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載してありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

ヤマエ久野株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 黒 木 賢 一 郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金 子 靖

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヤマエ久野株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヤマエ久野株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。